



熊のいたヒマラヤ杉

物とのせめぎ合いがあり、どこに出てもおかしくありません。今回は被害がなく大変良かったと思います。そう言えば、開明小学校にも十数年前に現れて以来、久々でした。

(百瀬 壽)

■公園での熊の様子
そこで、伺ったところ、前日並柳団地で確認され、警察も追っていた個体であったとのこと。そんな繋がりもあって、前日の雨のため、普段であれば、物音で気が付く

■イオン南松本店では
この情報にイオン南松本店の総務の方にお話を聞きしました。すぐに各入り口の自動ドアを手動に切り替え、バックヤードも封鎖し、10分おきに店内放送で注意喚起の対応をしたとのこと。

全国的に連日野生動物とのせめぎ合いがあ

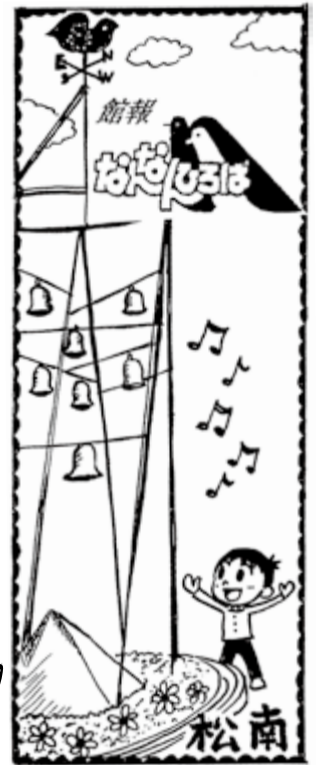
時を同じくして南部公園にて熊、捕獲との情報を得ましたが、同一個体でない熊がいる可能性と児童・保護者の不安感を鑑み、引き渡しは予定通り行うことにし、10時30分、全保護者に引き渡しを行う連絡をしました。予定通り13時

を周知しました。

法の変更の可能性」の旨アプリにて連絡しました。8時55分松本市森林環境課に問い合わせたところ、南部公園南側付近で熊が目撃されたとの情報を得、10時20分に臨時職員連絡会を行い、13時30分以降に児童の引き渡しを行うことを周知しました。

田付近で熊目撃」との情報提供を得ました。熊が本校の学区内に移動することが予想されたため、8時38分全保護者に「児童の安全のため下校方法の変更の可能性」の旨アプリにて連絡しました。8時55分松本市森林環境課に問い合わせたところ、南部公園南側付近で熊が目撃されたとの情報を得、10時20分に臨時職員連絡会を行い、13時30分以降に児童の引き渡しを行うことを周知しました。

南部公園にも熊出沒!



子どもたちの命・安全を守るために 「学校の対応」

開明小学校教頭
佐々木美紀子

昨今の熊出沒に対応し本校では昨年度末に「熊対策危機管理マニュアル」を整備しました。5月22日の熊出沒への対応は次のとおりです。

30分に引き渡しを開始しました。
このたびの熊対応については、全職員で振り返りを行い、マニュアルを見直しながら、児童の安全を第一に対応してまいります。

大好評! 福祉ひろば事業

松南地区福祉ひろば
松尾 莉奈



ふれあい健康教室

松南地区福祉ひろばでは、様々なひろば事業・講座を行っています。中でも、月に一度のふれあい健康教室は、合唱やストレッチの他、毎月内容が変わるレクリエーションで歌や楽器演奏、交通安全教室などがあり、大好評です。多い時には、参加者数が50名を超え、会場が大勢の人で埋

まいます。

無理なく体を動かして、痛みの改善・予防ができる体操事業もとても人気です。お出かけウォーキングでは、散策を楽しめます。

また、ひろば喫茶として、ひろばの中で販売している飲み物とお菓子で一息つくこともできますので、ご友人同士やおひとりの時間を皆様くつろいで過ごしておられます。

手芸講座では、参加される方々に達成感を感じていただけるよう、内容を決める際に、職員で何度も試作し、作りやすさや仕上がりが具合を確認する物もあります。

今後もひろば事業・講座を通して、地域の皆様に喜んでいただけるよう、精一杯努力してまいります。



信州スカイパークバラ園

初夏の風に伝統紡ぐ、 開明小学校で運動会

5月30日、爽やかな五月晴れのもと、開明小学校の運動会が開催されました。校庭には子どもたちの元気な声と、それを応援する声が響き渡り、地域に初夏の訪れを告げていました。

見どころとなったのは、6年生による伝統の「ソーラン節」です。力強い掛け声とともに躍動する姿や、終盤に登場した各クラスの大漁旗に会場は大いに湧き、最高学年の貫禄を見せてくれました。低学年は玉入れとダンスで可愛らしい姿を、4年生は音楽に合わせて元気いっぱい踊る姿を披露。さらに「綱引き」「台風の日」といったお馴染みの種目も健在。子どもたちは仲間と息を合わせ、力いっぱい体を動かしていました。

時代が変わっても、学校で元気に過ごす子どもたちの姿は地域の宝です。少し日焼けしたたくましい笑顔に心からの拍手を送りつつ、これからも、子どもたちの健やかな成長を温かく見守り、支えていきたいと感じました。

(笠井真希)

松南地区のできごと

5/30 開明小学校運動会



ソーラン節で元気よく



赤勝て、白勝て

4/25 宮田西居酒屋町内公民館



カンパイ!

6/22 青少年ホームダブルダッチ



大人も子どもも



飛んで、飛んで

6/1 信明中学校地域一斉清掃



地域をきれいに

コラム松南

便利さの裏にある 生成AIのリスク

最近では生成AIを仕事で使う機会が増え、私も資料作成やプログラムの調査などで活用しています。短時間で作業を進められる便利なツールですが、使い方には注意が必要です。実際に、機密情報を入力して情報管理上の問題になったり、AIが作った誤情報を信じて業務判断を誤ったりした事例もあります。また、プライベートな相談事をAIにして言われた通りに行動してしまう方々もいるようです。

自身にとって都合良く肯定的な考えを解答してくれるのは気分良くなりますが、一旦自身の考えを入れることが大切です。本当に都合の良いことしか言わないときがあるもので油断なりません。信じ過ぎない、一定の距離感を保って接するのが大事だと考えると人間関係と似たところがあります。生成AIはあくまで業務を支援する道具であり、最終的な判断や責任は利用する私たちにあります。便利さだけに目を向けずに、しっかりと確認が大切です。(村山和也)